

SDGs おおたスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGsの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGsの推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日> 2024年10月11日

事業者情報					
事業者名		有限会社エイコー容器			
代表者 職・氏名	職名	代表取締役			
	氏名	張替 慎貴			
ホームページ URL (任意)		https://eiko-youki.jbplt.jp			
事業者ロゴ (任意)					
事業者としての 2030 年のあるべき姿					
<p>大田区リサイクル事業協同組合に所属しており、組合から大田区の資源回収業務を永年にわたり受託させて頂いております。今後の回収業務に支障を出さないことはもちろんのこと、回収トラックの電気自動車化・ルート回収の効率化及び CO2 の削減など少しずつSDGsに取り組んで参ります。2030年に向けては、高齢者・ジェンダー等に配慮した環境作り、質の高い運転及び教育、気候変動への対策を進めることで、より質の高い資源回収に取り組み、持続可能な地域社会の基盤づくりに貢献できるよう注力いたします。</p>					
<p>これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）</p>					
 1 貧困をなくそう	 2 飢餓をゼロに	 3 すべての人に健康と福祉を	 4 質の高い教育をみんなに	 5 ジェンダー平等を実現しよう	 6 安全な水とトイレを世界中に
○●	○●	○●	○●	○●	
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 10 人や国の不平等をなくそう	 11 住み続けられるまちづくりを	 12 つくる責任つかう責任
○●	○●		●	○●	○●
 13 気候変動に具体的な対策を	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさも守ろう	 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナリシップで目標を達成しよう	
●		●		○●	

目標の達成に向けた取組内容等

関連するゴールの数字を記入 (複数記入可)	これまでの取組内容	これからの取組内容
7・11・12 13・15	車両管理については、法令順守を基本としてまいりました。また、回収作業時における安全確保や事故防止、作業員の体調管理にも配慮してまいりました。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は CO2 削減を目的として 2030 年までに平ボディ回収車両の 10%を電気自動車化し、気候変動に配慮した対策を行います。 ・ 資源回収車の回収状況を常時監視できる GPS による車両管理を 2030 年までに導入し、回収効率だけではなく、安全運行の管理を強化し、安心して住み続けられる街づくりに貢献します。
5・8・10	従業員が働きやすい職場づくりに努めてまいりました。	セクハラ・パワハラを抑止や、安心して働ける労働環境作りに向け、組合が主催するハラスメント研修に毎年参加します。
1・2・3 8・10	高齢者や未経験の方でも始めやすい仕事であり、広く人材を募集して参りました。	今後も高齢者が安心して働ける環境づくりを進め、高齢者の採用を積極的に進めるだけでなく、雇用継続にも努めていきます。
3・4 11・17	会社の所属の組合事業を知って頂くため、大田区ふれあいフェスタへの参加や教科書の取材協力、区主催のイベントでの資源ごみ回収などを行っています。	SDGs の視点に沿った資源ごみリサイクルの PR 活動を強化し、各イベントでの情報発信や各種取材、処理センターの見学等を通じて情報発信を行います。 また、2030 年までに SDGs 認定資格取得者を置き、質の高い回収業務を目指します。
12	資源回収ルートについては、法令に則り信頼性が担保させた回収先を選定しております。	引き続き資源回収ルート、売却先等を明確にし、トレーサビリティの確保に努めます。